

音楽とは 横への感性なり!

合唱団ホームページアドレス
<https://www.wiengifu.org>

3月号

2022年3月1日

編集・発行

ウィーン岐阜合唱団

New Year Concert 2022

～ 希望の光 輝く未来へ ～

サラマンカホール 2022. 1. 27 (木)



バリトン 大野邦宏さん 提供

New Year Concert を終えて

ソプラノ 浅野 啓子

コンサートを終えた次の朝、いつもの犬の散歩に出かけた折、ひんやりとした冬の空気がとてもさわやかに感じられました。みんなで心を合わせて歌い、それを聞いてもらうという舞台、一つの作品ができ上がったという感動がゆっくり心に沁みてきました。昨年は家庭の事情でコンサートには参加できませんでしたので、2年ぶりの舞台でした。やはりこのような発表の場は合唱をやっているからには必要不可欠なものなのだと改めて感じました。

さて、今回のウィーン合唱団の楽曲、私たちはいつから練習を始めたのか、たぶん1年近く練習してきたのではないのでしょうか。秋のコンサートが中止になり、やっとコンサートで歌いきることができました。

昨年末にはコロナ感染の数も減り、このままいければという祈る気持ちでいました。しかし、年が明け、アフリカで始まったオミクロンがすごいスピードで世界中に広がり日本でも感染者数の過去最高を更新しています。そんな中、細心の注意を払って行われたコンサートでした。こんな状況にもかかわらずご来場くださった方々には本当に感謝です。また、合唱をより良い音楽に高めてくださったバイオリンの平光真彌さん、チェロの高野真穂さんありがとうございました。そして我々素人集団を忍耐強くご指導してくださった平光保先生、伴和子先生には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

しかし、ここまできるとの練習は楽しいばかりではありませんでした。私たちの歌声が平光先生の頭の中で流れている音楽になかなか近づけず、何度も同じ説明を聞きながら繰り返される練習は、「わかってはいるんです…、でも難しいんです」という感じでした。コンサートまで一か月を切ってもこの練習は続き、どうなるのかとヒヤヒヤしました。第九とは違い今回の曲は静かに優しく語り掛け、歌の心を聞いている人に届けるというものが多かったからということもあると思います。

『星のこども』は小さな夜露に目を注ぎ、それが「お星の家からくるのでしょうか」と大きな宇宙、遠い星の世界へ広がる曲です。そして高田三郎の合唱組曲『心の四季』から2曲『風が』、『真昼の星』はメロディーも詩も美しく、心に響きます。自然の四季の移ろいはその景色が浮かんでくるような、また、真昼の星のようにひそやかに目立たないけれどきらめいているような人生を歩みたい。本番は平光先生の注意を思い浮かべながら集中力を最大限にして歌いました。歌の心が聞いている人たちに伝わっていたら嬉しいです。

最後の『見上げてごらん夜の星を』はコロナ禍でなければ会場の皆さんも一緒に歌えたら良かったのに、と思いました。コロナの1日も早い終息と、そしてみんなの小さな幸せを祈っています。

福島県に想いを寄せて

ウィーン岐阜合唱団ヴォイストレーナー ソプラノ歌手 伴 真由子

合唱団の皆様、お元気でいらっしゃいますか？

1/27(木)のニューイヤーコンサート、お疲れ様でした！当日に私がコロナの濃厚接触者とわかったことから、急に出演を辞退させていただくこととなり、申し訳ありませんでした。

久しぶりに皆様にお会いできますこと、合唱を聴かせていただけることを楽しみにしておりましたのに、とても残念でした。

また、半年程前になりますが、昨年10/24(日)に開催させていただきました、世界音楽紀行 Vol.2 には、滋賀県栗東市までたくさんの方にお越しいただき、とても嬉しかったです。いつもコンサートに駆けつけてくださり、応援してくださり本当にありがとうございます。

さて、今年も東日本大震災の日が近づいてまいりました。先日、東日本大震災後、福島県田村市で活動されているNPO法人蓮笑庵くらしの学校の渡辺さんとお話しさせていただき、最近の福島県のこと、お聞きすることができました。

ちょうど一年前にお話させていただいた時は、コロナ禍で苦しい中、震災から10年を迎えようとしていた2月の大きな余震により、10年前よりひどく建物が倒壊して自宅に住めなくなった方々、10年前を思い出して鬱になった方々などを支援していらっしゃるとお聞きしていました。

震災、原発事故、コロナ、そして、また大きな余震と重なり、震災から10年そしてコロナ禍ということもあり、様々な助成金や支援金も打ち切られる中、大変なご様子でした。これまでにウィーン岐阜合唱団から送らせていただいていた寄付金の貯金を切り崩しながら、活動をされていたそうです。

そして、最近では少しずつ活動が広がっているとお聞きすることができました。コロナ禍でボランティアさんにお越しいただいたり、遠方からの視察などはなくなりましたが、今は、震災、原発事故からの過疎化、コロナ禍、そして、そこからの地域再生のモデルとなれるよう、福島大学の教授や市長さんをはじめとする地元の方々と一緒に活動を広げておられるそうです。

またその活動は海外へも少しずつ広がっているようで、コロナ禍に浮き彫りになってきた民族問題、人種問題等々で困っていらっしゃる方々の受け入れの準備もされているそうです。

震災から11年、コロナ禍になり、たくさんの支援団体、NPO法人は解散されているようですが、“くらしの学校”はこれまでの間、ウィーン岐阜合唱団の皆様の継続的なご支援があったおかげでコロナ禍でも少しずつ活動を続けることができると、とても感謝されていました。

今後も“くらしの学校”の活動を見守っていきたいと思っていますので、又、ご報告させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

尚、皆様ご購入くださいました、2020年のトリオ結、世界音楽紀行コンサートのライブ録音CDの収益金はくらしの学校へ寄付させていただきました。ありがとうございました。

♪ 伴 真由子 2022年前半 演奏会予定 ♪

☆ 3/11(金)東日本大震災メモリアルコンサート

ライズヴィル都賀山(滋賀県守山市) 15:00 開演(入場無料)

☆ 3/31(木)ムジカモーレ発表会

サラマンカホール(岐阜県岐阜市) 13:30 開演(入場無料)

☆ 4/9(土) カルテットソレイユチャリティコンサート

瀬戸蔵 つばきホール (愛知県瀬戸市)13:30 開演(一般 1,000 円)

☆ 6/18(土)マリンバと詠む日本のうた Vol.3

刈谷市総合センターアイリス(愛知県刈谷市)17:00 開演(2,000 円予定)

※3/31のムジカモーレ発表会は、私の声楽レッスンに通ってくださる方々の発表会です。

応援にお越しいただけたらうれしいです。私も最後に歌わせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。詳しくは伴真由子ホームページをご覧ください。

→ <https://mayukoban.jimdofree.com>



3月～5月 練習予定

練習時間・練習場所・体制等は、変更になることもありますので、ご注意・ご了承ください。

開始時間少し前に集合しましょう

平日 夜の教室 (18:30 ~ 20:30)		日曜 昼の教室(14時~16時)	
月日	岐阜	月日	大垣
3月10日(木)	長森コミュニティーセンター	3月11日(金)	大垣市南地区センター
3月17日(木)	〃	3月18日(金)	〃
3月24日(木)	〃	3月25日(金)	〃
3月31日(木)	〃	4月1日(金)	〃
4月7日(木)	〃	4月8日(金)	〃
4月14日(木)	〃	4月15日(金)	〃
4月21日(木)	〃	4月22日(金)	〃
4月28日(木)	〃	5月6日(金)	〃
5月12日(木)	〃	5月13日(金)	〃
5月19日(木)	〃	5月20日(金)	〃
5月26日(木)	〃	5月27日(金)	〃
		4月3日(日)	ときめきホール
		4月10日(日)	〃
		4月24日(日)	〃
		5月1日(日)	ときめきホール
		5月8日(日)	〃
		5月22日(日)	〃

お知らせ

ウィーン岐阜合唱団 日曜日 (昼) 教室の新規開設

夜の練習が難しい方の為に、昼の教室ができましたので、そのような方をどうぞお誘いください

指導者 … 伴 和子先生

- ① 日時：毎月第1, 2, 4日曜日 14時~16時 (見学大歓迎、1回のみ無料)
- ② 場所：ときめきホール (会場、日時は変更になる場合がありますので、ご了承下さい)
- ③ その他：木・金曜日教室団員 \longleftrightarrow 日曜日教室団員

(1回500円以上にて受講することができる)

新規入会費 3000円、会費 3500円

はじめて参加・見学される方は (会場の都合上) 必ず事前に連絡をお願いいたします。

連絡先：山田秀子 … TEL:090-9922-0659

FAX:050-1566-6968